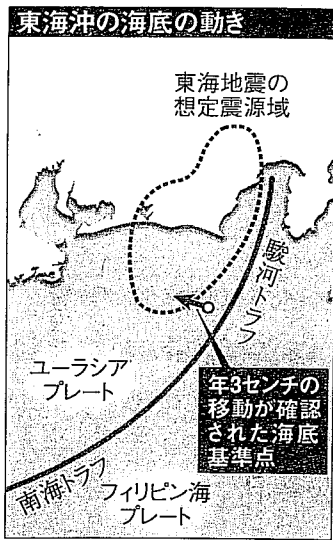


新聞新報

2007年(平成19年)7月10日 火曜日

東海沖海底 年3センチ移動

海保が初観測
地震予測に有用



◆輪島で震度3 9日午後4時ごろ、石川県能登地方を震源とする地震があり、同県輪島市で震度3、志賀町、穴水町で震度2を観測した。気象庁によれば、震源の深さは約10キロ、マグニチュードは4.1と推定される。

海上保安庁は9日、東海地震の想定震源域に隣接する東海沖の海底で初めて、地盤が年間3センチの速さで西北西に動いていることを観測したと発表した。巨大地震が発生する規模や領域を高精度に予測するのに役立つという。

同庁は2002年、静岡県御前崎市の南方約60キロ、深さ約2400メートルの海底に基準点を3か所設置。07年

4月まで、全地球測位システムによる船の位置情報と、音波を使った船から基準点までの距離情報を組み合わせて、海底の動きを測った。この結果、ユーラシアプレート(板状の岩盤)上にある基準点は年に3センチ動いていると判明。基準点の下ではフィリピン海プレートが北西向きに年間4〜5センチの速さで沈み込んでおり、同庁は「似た動きをしていることから、二つのプレートが固着して、ひずみを蓄積している」と分析している。